

広島を賑にぎわす

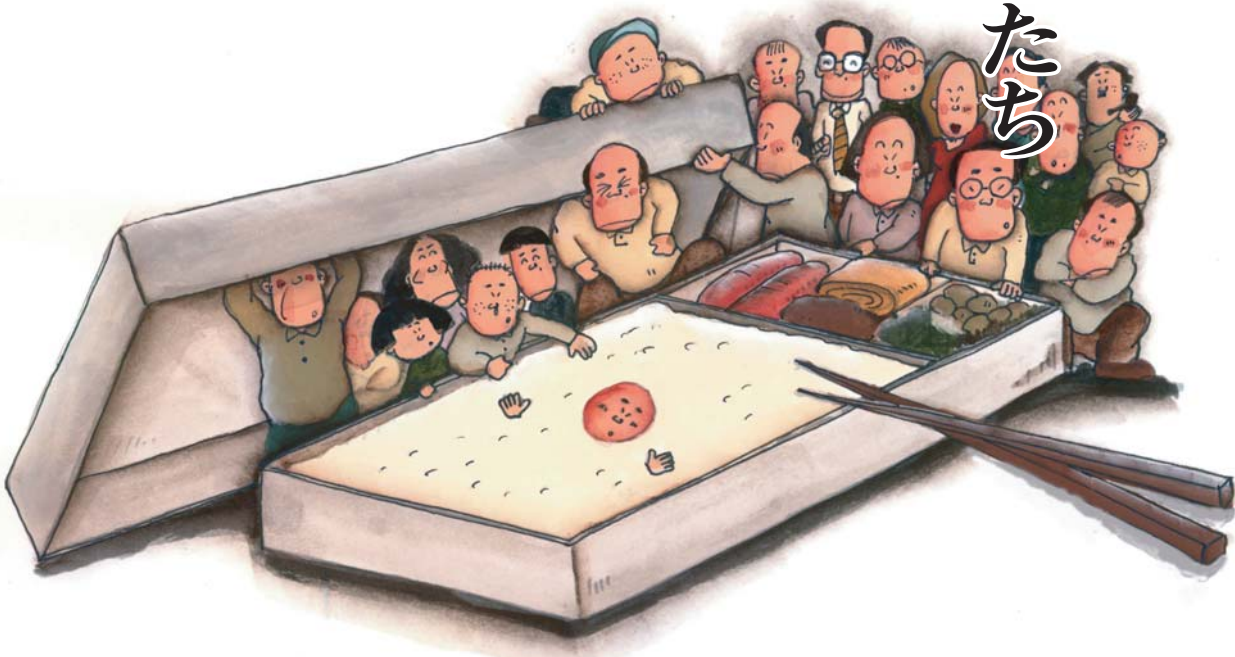
まちづくり弁当たち

世の中、様々な弁当があるようにまちづくりも多様です。

まちづくりの動機・きっかけ・取り上げる対象、取り組み方、出来ばえなど、それぞれに特色と苦勞、あるいは手抜きや楽をする過程など、個性があります。

こうした過程を弁当にたとえるなら、つくる動機・きっかけ、素材、料理方法・味付け、盛り付けということになるでしょう。まさに、まちづくりは、手弁当なのです。

まちづくり活動を弁当に見立て、特色や活動の概要などを紹介します。



ここで紹介する団体について

この本は、市民活動団体の方々と広島市などが、一緒に編集作業を行い、作成しました。

月1回のペースで会合を重ね、その話し合いの中から、取材先を決め、自分達の時間をやりくりして、取材に向きました。

集まったメンバーが話し合って、「これは」と思う団体を選んでいきます。

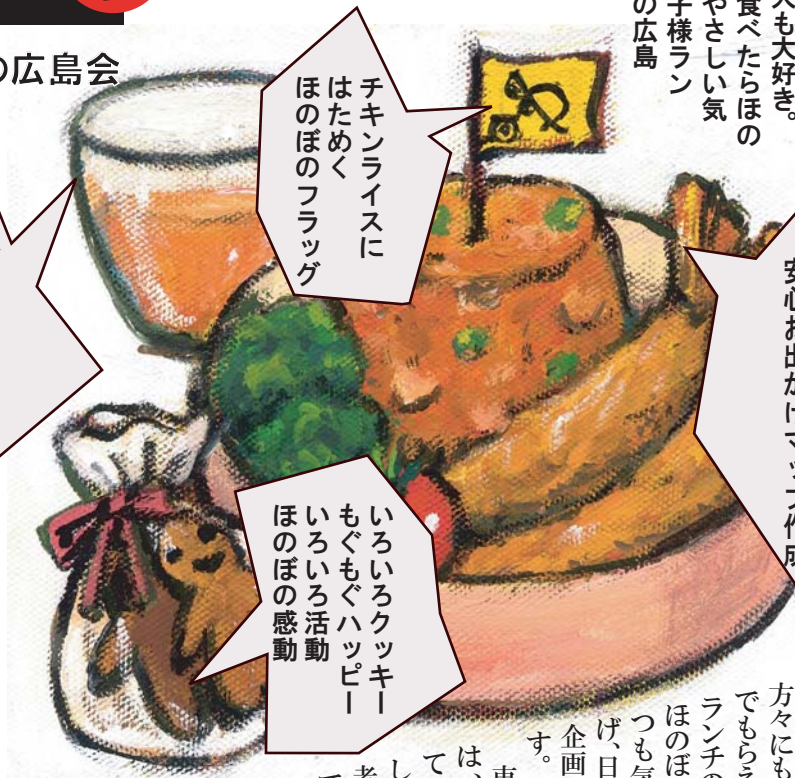
ここで取り上げさせていただいた団体以外でも、すばらしい活動をされている団体は、広島にはたくさんあります。

この本で取り上げた団体は、その中のごく一部であることをご理解ください。

広島を賑わす
まちづくり

弁当 1

ほのぼの広島会



瀬戸のみかん
ジュースで
ちよっとブレイク
楽しく仲よく

チキンライスに
はためく
ほのぼのフラッグ

いろいろなクッキー
もぐもぐハッピー
いろいろな活動
ほのぼの感動

ランチの王道
カラッと揚げたて
安心安全、地エビフライ
安心お出かけマップ作成

「ほのぼのフラッグ」
掲げ車いすツアー

メンバーは障害を持つ
方々にも安心して楽しん
でもらえるよう、お子様
ランチの上にたなびく
ほのぼのフラッグをい
つも気持の中心に掲
げ、日帰りのツアーを
企画・実施していま
す。

車いすツアーで
は、会の旗を立て
て、皆さんを誘導
しています。参加
者の笑顔を頂い
てみんなで楽し
くやっています。

ほのぼの広島会

活動分野:福祉

発足年:平成9年(1997年)

HP <http://wako.cside.com/honobono/>

大人に愛される
やさしい味あい

お子様ランチ弁当

無理なく楽しくボランティア

ほのぼの広島会

安心安全は
地産地消の「地エビフライ」の
精神で



障害者が安心して出かけられ
る町は誰もが安心してできる町で
す。障害者の人が出かける時に
心配なのがトイレ。公共トイレ
はもちろん、トイレだけでも自
由に使えるお店などを調査して
広島市の中心部のトイレマップ
と障害者も気軽にに行けるお店を
掲載した歓楽街マップを制作・
無料配布をしています。

活動いろいろ「クッキー」
会では障害者の介助だけにな
く、アルミ空き缶などの廃品回
収活動で得た資金を元に、車い
すやスポーツタイプの車いすを
寄贈しています。

また、直接支援以外にも盲導
犬寄贈をしている会員の支援活
動にも取り組んでいます。潮干
狩りなど、可能な限り障害者も
健常者と一緒にできる活動を実
施しています。活動はまさに

種々雑多ないろいろなクッキー。
でもどれも食べるとほんのり幸
せな気持ちになりますよ。



会員同士の交流も「みかん
ジュース ブレイク」で
長くボランティアを続けて行
くためには会の中が楽しくなく
てはね、ということ、節目の
年や例会を迎えた時は、記念パ
ーティを開催しています。

こうしたブレイク(休憩)で
会員同士が仲良くなって会の運
営もスムーズになります。

会員以外も参加可能な季節ご
との花見やビアガーデン、忘年
会なども実施しています。



ほのぼの広島会 発足のいきさつ

「無理なく楽しくボランティア」をモットーに体の不自由な人たちが安心して気軽に外出できる町「ほのぼの都市」をつくるために地道に活動を継続しています。

平成9年11月に5人の発起人から発足して平成19年6月現在で正会員は52名に増えました。



ボランティアをするといつても何を主な目的とするかどんな活動を行うか、誰を又どこを対象にするかなど基本的な考え方やルールなどいろいろと討議をしました。

発足式もない地味な出発でしたが盲人向け野球「ほのぼのビーバースポール」の模擬試合や平成11年6月に実施した「しまなみ海道車いすツアー」などをかわきり

にトイレマップ作成・配布、アルミ空き缶を集めての車いす購入や市社会福祉協議会ボランティアセンターからのボランティア要請への積極参加等々、幅を広げてきました。活動内容は大きく分類すると「ほのぼの車いすツアー」「ほのぼのボランティア」「ほのぼの安心マップ」上図参照の三つです。

会員は経営者、自営業、主婦、学生等の様々な立場の人や障害者の人も混ざり障害者も健常者も出来る範囲で「無理なく楽しく」活動を続け、平成19年11月にはめでたく10周年を迎えました。

5周年、10周年と経過し、会員からは「出会い」「ふれあい」「生きてよかった」「私の人生を変えた」「素晴らしい仲間たち」「人生の転換期」「かけ橋」「支えあい」「感動をありがとう」などの声を聞きます。活動することにさまざまな人から感動や感謝を頂くことをみんな実感しています。



広島を賑わす まちづくり

2 カフエテラス倶楽部

広島はカフエテラスの先進地

まちのどこへでも運べる、ランチボックスのようなカフエテラス

カフエテラス倶楽部

河川敷での常設カフエテラス営業が認められるなど全国的に見てもカフエテラスの先進地となったのが広島です。

その広島をリードしてきたのが12年の歴史を持つ、カフエテラス倶楽部。

広島市のランチメニューはおまかせあれ。倶楽部の活動を弁当のメニューに例えるとコーヒー、盛り上げ唐揚げ、癒やしライスの3種。ご要望があればどこにでも配達します。カフエテラスで街を楽しく賑やかに、そしてゆっくりしたひと時を堪能してください。

倶楽部はイベントの盛り上げ唐揚げ！あなたのイベントホットにします！

準備はおまかせ
迷惑かけぬ
宅配可能な
コンパクト弁当

“和み”を醸す
カフエ倶楽部
ウリはやっぱ癒やしライス

カフエテラス倶楽部
活動分野:まちづくり
発足年:平成7年(1995年)
連絡先:090-4695-3077
HP <http://www.c-haus.or.jp/cafe/cafe.html>
Email townwalk@fureai-ch.ne.jp

カフェテラス倶楽部

発足のいきさつ

平成7年6月。はつきり言って、ちよつと疲れた中年オジサン達がカフェテラス倶楽部を結成しました。

「広島に、パリのシャンゼリゼのようなカフェテラスをたくさん



カフェテラスを配達

倶楽部のウリは何といっても身軽さです。カフェテラスの道具・材料の一式を専用の軽自動車1台で会場まで運び、準備、運営、撤収まで全て倶楽部が差配して、カフェテラスを実施します。その手軽さは、まちづくりのランチボックスです。

ただし基本メニューはホットコーヒーだけ。夏の時期だけアイスを出すことがあります。

コーヒー代は公共空間では原則無料、バザー等で許可がいただければイベントに併せて料金をいただくことがあります。

イベントをサポート

カフェテラスはまちづくりのいろいろなイベントに組み入れられやすく、雰囲気がよくなり、話し合いの場にもなつて、まちづくりの活動を盛り上げる優れたものです。イベントの盛り上げ唐揚げといわれる由縁です。

癒やしリース

和みを出すカフェ

カフェテラスの基本は屋外の開放的な空間で、自由に気楽なひと時を過ごすこと。いろいろな目標はあってもこの基本は変わりません。

月に一度必ず顔を出して話をしていく人、待ち合わせ、会合、カフェテラスはいろいろな場を提供します。

どんな場所で開店してもこの癒しリースだけは提供できるように心を配っています。ぜひ一度ご賞味ください。

カフェを行っています。

平成17年からは姉妹店「まちづくりカフェプロジェクト」が開店。京橋かいわいあしがる隊や駅前C級市場、二葉の里歴史の散歩道、緑地の管理を行うポツラ・アレッククラブ、まちづくり活動助成制度の発表会等から定期的にたくさんのお注文をいただいています。

作り、のんびりと気持ちいい時間を過ごしたい！」

「広島には戦後の戦災復興事業で作り上げた、20数キロに及ぶ河岸

緑地や平和大通りを初めとする緑豊かな空間がたくさんある。この

広島の財産をもっと自由に、楽しく使えるようにしたいものだ。」

動機はかなり単純な想いでした。

が、実は、カフェテラスがたくさん出来れば、この街の魅力が一層増して、活気のある街になるのではうとも考えていたのです。

その後いろいろな活動や出来事があつて日本で初めて河川敷のカフェが認められた広島は、常設のカフェテラスの先進地になりました。

倶楽部開店以来、最低月に一度は何処かでカフェテラスをやり、平成9年10月から月に一度の定例カフェを第三土曜日の午後、平和大通りのANAクラウンプラザホテル前の緑地で行い、後は不定期で出前カフェをやるということになりました。基町の環境護岸（基町ポツラ通り）でも第四土曜日の午後定例

